



(122)

大阪樟蔭女子大学

「高い知性と豊かな情操を兼ね備えた社会に貢献できる女性の育成」が建学の精神。大阪樟蔭女子大学(徳永正直学長、大阪府東大阪市)は、前身の樟蔭高等女学校設立からまもなく創立一〇〇年を迎える。大阪において女子教育の伝統を受け継ぐ。この創立一〇〇年に向けて、充実した学生サポート体制と質の高い教育とその環境を実現するため、二〇一五年四月、学部学科の再編(学芸・児童・健康栄養の三学部体制)と関屋・小阪西キャンパスの統合、小阪キャンパスの全面リニューアルという大改革を断行する。これにより、高い就職率を実現する「資格取得サポート」や社会で必要な実践力を育てる「学生活動プロジェクト」を「さらに進化させたい」と学長は話す。大正時代には「東洋一の女学校」と呼ばれ、高い水準の教育を誇った樟蔭学園は、今、学生満足度一〇〇%をめざして、生まれ変わろうとしている。

社会貢献できる女性育成

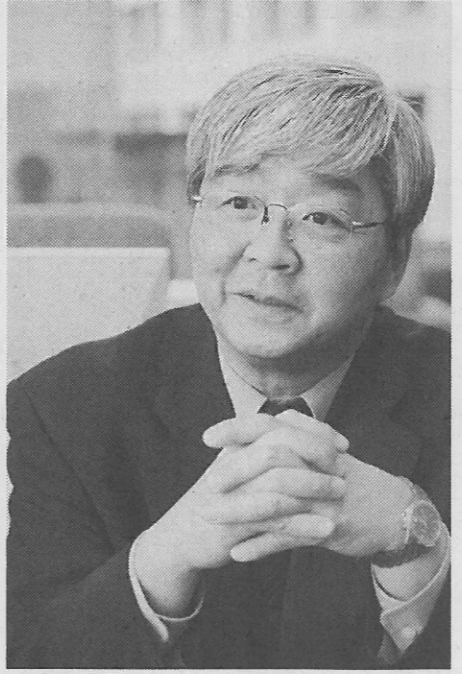
創立一〇〇年 伝統語る 作家の田辺聖子は、前向学心と希望にあふれる身の樟蔭女子専門学校 女子学生が集った。文科の卒業生。図書館内 一九四九年、大阪樟蔭に田辺聖子文学館がある。二〇〇七年に創立九〇周年記念事業として開館。文学世界や、人生や世界観など多様な角度から田辺聖子に触れることができる。

大阪樟蔭女子大学は、一九一七年に設置された樟蔭高等女学校が淵源だ。一八年、樟蔭高等女学校本科及び専攻科、二二年、高等科を設置。二六年、樟蔭女子専門学校を設置。モダンな学舎に

なった。小阪キャンパススペースは、三つの機能に教育のリソースを集約した。現在、三学部三専攻に二二八二人の学生が学ぶ。学生の出身県は、大阪がトップで奈良、兵庫、京都、和歌山と近畿圏が八割。一割、二割が中四国、北陸だといふ。かつては岡山、広島、香川、徳島が現在より多かったという。小阪キャンパスのリニ

学部再編など大改革断行

キャンパスも 学生満足度100%めざす



「確実な未来を約束する大学であり続けたい」と話す徳永学長

ユリアル。三つの新しい学舎が完成した。学生への各種サポート機能と教室が集まる清志館、地域のシンボルタワーの役割も担う翔空館(二〇階建て)、ステージ機能を持ちイベントにも使用できる新体育館。

清志館の「学生サポートスペース」は、①専門トススペース、②登録など学習全般を支援するラーニングサポート②クラブ活動や奨学金、寮・下宿など学生生活全般をサポートするキャンパスライフサポート③資格取得やインターンシップ、さらに就職活動まで夢の実現を応援するキャリアサポートがある。

「関西の大学で、最大規模のスペースを誇る質の高い教育環境と学生にとっての快適な環境が実現しました。サポート

部再編の視点から主なる学的に学ぶコース。化粧科・専攻の学びをみても、国文学部は、国文学科、国際英語学科、心理学科、ライフプランニング学科、被服学科(被服専攻・化粧専攻)からなる。

「心理学科は、より新しく、幅広い視点から心理学の実践教育を行います。精神保健福祉士の受験資格も取得可能で、併設の大学院に進学すれば臨床心理士への道も開け

「資格取得サポート」は、教職員が一丸になって徹底的に進める。その成果は、数字になって表れている。

二〇一四年「管理栄養士の合格率は一〇〇%(七五人)を達成。直近三か年(二〇一二〜一四年)実績平均は九八・二%という高い実績を誇る。

心理学科では、医療・福祉業界でニーズの高い国家資格「精神保健福祉士」の合格率が全国の

地域人材コースなど新設

トビタテ! 高校生コースも人気

官民協働海外留学支援制度の「トビタテ!留学JAPAN」日本代表プログラムは、平成二十七年から「地域人材コース」と「高校生コース」を新設し、募集を行っている。

平成二十六年度から実施している四コース(自然科学、複合・融合系コース、新興国コース、世界トップレベル大等コース、多様な人材コース)に加え六コース

「地域人材コース」については平成二十七年度の採択地域事業を決定し、また、「高校生コース」については平成二十七年年度の応募状況をま

とめた。地域人材コースは、「地域の活性化に貢献し、地域に定着するグローバル人材」の育成が目的。地域の産学官が主体となつて事業を実施する

もので、一の地域事業から応募があった。厳しい審査を経て七の地域事業が、平成二十七年後(第三期)派遣の対象として採択された。

採択地域は、年間最大一〇名程度の学生を選抜し、海外留学と地域企業でのインターンシップを組み合わせたプログラムを実施する。日本学生支援機構は、各地域の企業等の拠出額に応じて、各

地域で選ばれた派遣留学生への奨学金等の費用の一部を支援する。

このコースの対象となる学生の要件やプログラムの内容(募集時期・派遣先・募集・選考方法等は地域事業によって異なるため、詳細は今後ウェブサイトを掲載される内容を参照のこと)。(官民協働海外留学支援制度「トビタテ!留学JAPAN」日本代表プログラム、日本学生支援機構ホームページにリンク)

なお、七事業以外の応募地域については、平成二十七年一月に実施した第一次審査において「仮採択」(準備が整い次第事業を実施して良い)としている。これらの地域については、資金やプログラム内容等の準備が整った段階で、再審査を

実施し、採択に至った場合には、その時点で留学生募集を開始することに。また、平成二十七年から支援を開始する高校生コースでは、アカデミック、スポーツ・芸術、プロフェッショナル、国際ボランティアの四分野

における高校生の留学について募集を行った。応募生徒数は、五一人、応募生徒の在籍学校数は、二八校だった。今後、学識経験者・支援企業等からなる審査委員で選考を行い、五月中旬下旬に採択候補者を決定する予定。

の通り。 会場：聖徳大学一〇号館

・日 時：平成二十七年五月一日(金)・十五日(金)・二十九日(金)・六月十二日(金)・二十六日(金) [全五回]

・対象：外国人留学生(大学・短大生)

・定員：二〇名

・参加費：二五〇〇円

日本文化を体験

留学生に和食

第一回 だしを取り方、ご飯の炊き方、だし巻き卵、味噌汁、ほか

第二回 若竹汁、筍飯、炒り鶏、ほか

第三回 沢煮、炊き込み、きんぴら、うぼか

アカデミー

第四回 味噌汁、おにぎり、肉じゃが、ひじきの炒り煮、ほか

第五回 かき玉汁、ご飯、ぶり大根、かぼちゃの煮物、ほか

申し込み・問い合わせは、聖徳大学生涯学習課まで。〇四七-三六五一三六〇一(直通)

不思議なキャンパスからの脱出

大阪経済法科大学(藤本和貴学長、大阪府八尾市)では、三月二十九日(日)に行うオープンキャンパスで国際学部(仮称「設置構想中」)スペシャルプログラム「不思議なキャンパスからの脱出」を開催することに。この「不思議なキャンパスからの脱出」は、体

を養い、グローバルな視野を身につけるため英語力向上の助言や異文化交流イベントを行う。「留学する学生は増えていますが、外国人留学生が少ないので、もっと増やしていきたい。日本語・日本文化研修留学の学びを強化して留学生を多く受け入れて日本人学生と一緒に学べる環境を作りたい」

二〇一五年の大改革に対する受験生の受け止め方は、「学部再編、キャンパス統合、新校舎建設という改革は、おかげさまで受験者の増加につながりました。これを二〇一七年の創立一〇〇年に留めず、その先まで飛躍を求めていきたい」

大都市の女子大運営は、厳しいと言われていますが、男女共学を考えたことは?「キャンパス統合を検討した際、理事会の将来構想委員会で『女子教育の伝統を守る』と決まりました。独自の学びをアピールし、女子大であり続けたい。ぶれることはありません」

最後に、「自らの道を切り拓く女性を育てる、という建学の精神を受け継ぎ、学生一人ひとりの『なりたい自分』の発見やその実現をしっかりとサポートして、『確実な未来を約束する大学』であり続けたい」ときっぱり続けた。この「不思議なキャンパスからの脱出」は、体

感性脱出ゲーム。はじめに出会う仲間とチームを組む、国際学部の教育特色や留学・国際交流と関連した謎を解きながら、楽しく国際学部に対する理解を深めてもらうのが目的。

また、脱出ゲームとしては「日本から脱出して世界に飛び出してほしい」という同大国際学部の想いも込めて設定したという。

イベント企画・運営に